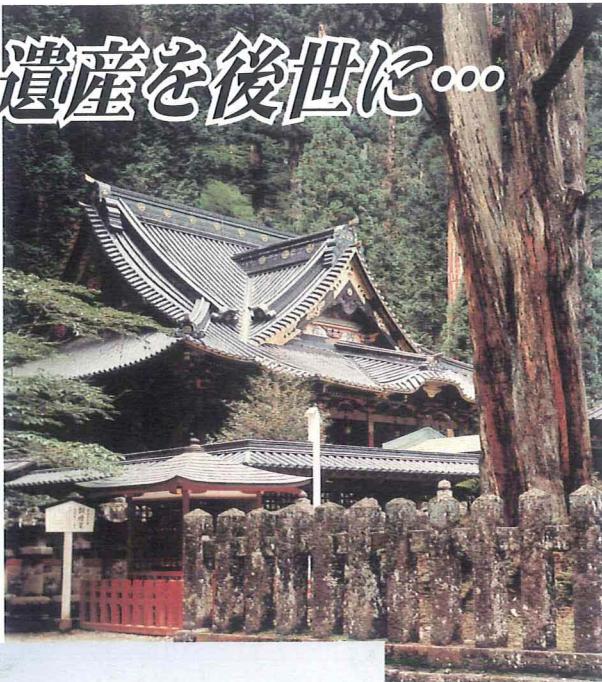


世界の遺産を後世に...

日光二荒山神社 本殿



会報
むすび

第24号

平成12年3月吉日

●発行所●
栃木県青年神職むすび会
会報編集委員会

●発行人●

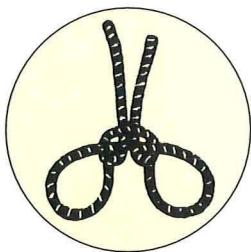
上野武男

●印刷所●

(有)中津印刷所



日光山輪王寺 三仏堂





會長挨拶

栃木県青年神職むすび会

会長上野武男

新しき年を迎えて謹んで聖寿の
万歳と皇室の弥栄をお祝いもう
しあげます。

昨年十一月皇居前広場に於いて天皇陛下ご即位十年の奉祝記念式典が行われました。当会も

神青協を通じ記念式典に奉仕させて頂く事ができました。国を挙げて世代を超えての華やかなお祝いとなり誠に慶祝の至りに存じます。

さて、会員の皆様には、昨年の本会主催の諸行事に絶大なる御協力又御尽力を賜り感謝申しあげます。特に靖國神社御鎮座百三十年を記念し、むすび会員始め家族で参拝させて頂いた事は、意義深い行事でありました。子供達も神聖な本殿に額ずき御祭神の御神徳、平和の大切さを

肌で感じ得た事と思います。

又、神青協におきましては、ご承知の通り昨年創立五十周年を迎え「次世代への継承」をテーマとして、種々の事業を展開致しました。

等々、当会からも多数会員の方々の参加を頂き、全国の仲間と共に活動できました事は、大変有意義であり組織としてのさらなる強い力を生み出した事と存じます。

年頭に当たつての御挨拶とさせ
て頂きます。

当会に於ても来年は、先輩諸氏の築きあげられたむすび会の歴史が四十年を迎える事となります。

今期定例総会に於て星野副会長を委員長として「むすび会創立四十周年準備委員会」を設立させて頂き次世代への継承、又斯界の尖兵たる位置付けをその

存在理念とし、四十周年記念事業を検討してまいりたいと存じます。

会



国旗・国歌法



1. この法律は、公布の日から施行する。
〔商船規則の廃止〕

平成十一年八月九日 「国旗及び国歌に関する法律」が成立した。我がシンボルである日の丸、君が代が法制化されたことは、象徴天皇を中心に全国民(日本人)が統合されている立憲君主國にほかならない。ここに天皇陛下御即位十年慶事の平成十一年度にあらためて次の通り記載させて頂くことにする。



別記第一（第一条関係）

日章旗の制式

別記第二（第二条関係）

君が代の歌詞 および楽曲

一、歌詞

君が代は
千代に八千代に
さざれ石の
いわおとなりて
こけのむすまで

二、楽曲

縦 横の三分の二
日章 直径 縦の五分
の三 中心 旗の中心



【国歌】

第二条 国歌は、君が代とする。

2. 君が代の歌詞および楽曲

は、別記第二条の通りと
する。

国旗及び国歌に関する法律

【国旗】

第一条 国旗は、日章旗とする。

2. 日章旗の制式は、別記第

一の通りとする。

付 則

〔施行期日〕

地 白色
日章 紅色

当分の間、別記第一の規定にかかわらず、寸法の割合について縦を横の十分の七とし、かつ、日章の中心の位置について旗の長さの百分の一偏した位置とすることができます。

*都合により割愛させていただきました

神青協活動報告

神青協創立五十周年記念

—次世代の継承—

平成十一年四月二十二日、明

治記念館に於いて神青協創立五
十周年記念式典が開催された。

物故者慰靈祭斎行の後、高円宮

同妃両殿下のご臨席を仰ぎ記念

式典が執り行われた。記念講演

会は講師 櫻井よし子 先生の

「日本よ、のびやかなれ」という
演題ですすめられた。



各単位会周年式典

平成十一年七月六日
群馬県神職青年会創立五周年
於 伊香保温泉きぐれ

平成十一年七月十六日
東京都神道青年会創立五十周年
於 青山ダイヤモンドホール

平成十一年十月五日
茨城県神道青年会創立五十周年

了後靖國神社に於いて神青協に
て本県から上野会長、星野副
会長、人見事務局長がそれぞれ
祭員として奉仕された。

茨城県神道青年会創立五十周年
於 筑波第一ホテル

平成十二年三月十三日

千葉県神道青年会創立五十周年
於 ホテルスプリングス

世界平和祈願祭 靖國神社慰靈祭



平成十一年八月二十五日 九
段会館に於いて創立五十周年記
念事業、世界平和祈願祭が斎行
された。世界中で戦争や紛争に
巻き込まれ倒れていった数多く
の人々を悼み、世界の国々が相
互の国や文化を尊重し合い平和
に明るく共存できる社会の実現
を願い各界各層の人々と未来を
担う青少年達と共に世界の恒久
平和を祈つた。同日、祈願祭終

—神青協創立五十周年記念—

「北方領土復帰祈願祭」に参加して

栃木県青年神職むすび会 副会長 星野芳典

稚踏の羽田空港から、閑静な道東の玄関口、釧路空港に降り立つたのは、六月も下旬と言うのに幾分肌寒い二十三日の夕刻でありました。周りは釧路湿原に覆われた大自然の中で、心身共に清々しく洗われる思いがしました。そして、バスに乗り換え釧路市街へ向かい、ホテルにて懇親会を開き、その夜は北海道ならではの整備された市街地で、地元の方々との交流を深め親睦をはかりました。

短い一夜が明け、早朝六時に朝市（徒步数分）に向かい、炊き立ての御飯をドンブリに名物のウニとイクラをのせアルコールの抜け切れていない胃袋に納めて、霧むせぶ納沙布岬へいざ出発。



午前十時半を少しまわった頃でした。そこにはもう北海道の神青協を始め担当役員、又関係各位の方々が早朝より準備をなさつて頂き、祭場がきちんと整わっていました。天候は厚い雲に覆われあいにくの霧で北方四島は見ることは出来ませんでした

が、この海の少し先、霧の向こうに日本の領土（國土）があるのかと思いながら複雑な気持で見つめていました。さて、祭典は定刻の午前十一時に斎行され、神青協斎藤副会長の祝詞が北方四島に響きわたるかの様な素晴らしい声で奏上され、丁度一時間かけて執り行われました。参列者には、北海道神社庁長を始め支部長、釧路市長や各方面より参列を賜り玉串を奉奠されました。祭典終了後に記念碑が建立されている、納沙布金刀比羅神社の奉贊会長に全国単位会からの奉獻品目録や玉串料の伝達を行い、最後に記念の集合写真を撮り無事終了致しました。当

日は特に寒い日で背広で参列していくても寒くて体が震えるほどでした。バスガイドさんの話では体感温度は十度位ではないかと言つておられました。そんな片道三時間余りをかけてようやく北海道の最東端根室の地、納沙布岬にたどり着いたのは、

中早朝より準備して頂いた関係各位、又白衣で祭典奉仕された方々に厚く御礼申し上げます。また今回初めて現地を訪れてみてテレビニュースでしか見たことのなかつた北方領土返還が人ごとでは無く、本当に日本国民の総意の願いとして活動して行ななければならぬと改めて思ひ知らされました。釧路市長のお話にもありましたが、市民は今でも領土ではなく國土だと思つているそうです。昔、日本の首領といわれていた故笛川良一氏がお金で買えるものならいくらでも出すと言つたことがあります。又、道路沿いにも北方領土返還の看板がいたる所に立つております。我々も二十年前先輩達が建立した返還祈願碑を、これからも守り受け継ぎに心中よりお祈り申し上げます。

最後に、幸いにも祭典終了後より降り出した雨の景色を、車窓より眺めながら、今は本当に声を大にして言いたい。

「返せ 北方領土」と

神宮 初穂曳に奉仕して

八坂神社 権禰宜 葵田真彦

四月に神宮を退職し栃木に帰つてからまだ日も浅い私に、初穂曳のお話を上野会長よりいただき、伊勢に対する懐かしさと共に、ふと考えてみますと、これまででは初穂奉納式の準備など

もありまして、初穂曳では初穂を受け取る側におり、初穂曳の行列を間近で見たことがないことに気づき是非参加したいと思いました。

十月十五日、名古屋から近鉄

線に乗り換え、懐かしい風景を窓から眺めながら伊勢

に入り、神宮会館で白シャツ、白ズボンに着替え大講堂で結団式を行い、

よいよ初穂曳奉

仕の始まりとなりま

した。初めて近くで見る御車には、

全国の多くの崇敬者より送られた初穂がのせてあり、

あらためて伊勢の素晴らしさを実感し、稻穂を作られ



た方々の気持ちを思うと気が引き締まり、エンヤーエンヤーのかけ声と共に、ぐるぐると両手で回しながら曳く綱にも自然と力が入り、伊勢の町を一步一步進んでいきました。しかし、外宮の手前一五〇メートル位になつたとき御車が止りました。

何故かなと思っていたところ、まわりの人から、残りの通を全速力で走るのだと聞かされ、少し驚くと共に、自分の勉強不足が恥ずかしくなつてしましました。そして、外宮まで走り進んでいくと何ともいえぬ達成感がありました。火除橋前に着くと、御車よりおろした初穂を持ち、参道を進み五丈殿前で御祓いを受けた後、奉納をし、解団式をすませ、私の初穂曳は終わりました。

これまで私の過ごしてきた神宮とは少し違う角度からとても

貴重な経験ができました。

最後になりましたが、今回御一緒させていただきました古峯神社の滝口さん、大変御世話になりました。



植樹祭

平成十一年十月二日恒例のむすび会植樹祭を実施し、本年は

神社庁敷地内及び県北東部の馬頭町鷺子山上神社、烏山町八雲神社両社に真榦を植樹させていただきました。

当日神社庁神殿にて植樹報告祭が星野副会長による齋主の下、上野会長以下植樹参加会員が参列し斎行されました。祭典の後、

神社庁前庭に植樹を行い会員の車にそれぞれ分乗し鷺子山上神社に向かいました。

到着後修祓を受け、参拝の後総代さんと共に楼門前に植樹を行い休憩を取らせていただきました。

鷺子山上神社は県境に鎮座するという全国でも稀なお宮だということで、長倉宮司さんよりも出来ました。その後烏山に向かい、八雲神社では黒崎宮司さんより御挨拶をいただき御社殿

東側に植樹させていただきました。

宇都宮に戻り、夕刻よりこちらも恒例のお月見親睦会が催され、一日の疲れを癒し、喉を潤し会員相互の親睦を深めました。

今回植樹させていただきました神社・両神社共に榦は無事に根を付け育つているとの事です。

私事ではありますが、植樹させていただいております榦を栽培しております者（ほとんど宮司が育てておりますが）として、県内各神社の縁深い境内に植樹でき、またその木が根を付け育ちお役に立つているとのお話を聞きすることは、大変に名誉であり喜びとするところであります。

今回で二回目の参加となりますが今後も出来得る限り参加させていただきたく思います。

(宇二荒山神社 金子宗人)

香取由美

今回むすび会の行事に初めて

参加させていただきました。前々から家族でとても楽しみにしていて、当日の八月二十日は天候にも恵まれ最高の参拝日となりました。宇都宮二荒山神社に集まり、何人かが途中乗車して一路靖國神社へと出発しました。

バスの中では、上野会長さんが準備してくれたゲーム等をしながら、子供達も飽きることもなく、楽しく賑やかに過ごせました。首都高速道路の渋滞もそれほどなく、予定より早く靖國神社に到着しました。先ず応接室に案内され、湯沢宮司様より神社の由緒等いろいろなお話を伺い、その話の中で宮司様は栃木県のご出身とのことで、なにか親近感を覚えました。

手水とお祓いを受けて拝殿へと進み、静寂の中で夫々の思い

靖國神社参拝家族旅行に参加して

—むすび会—



お参りした後は、靖國神社附属の遊就館を見学し、私はそこ

で手を合わせました。
お参りした後は、靖國神社附属の遊就館を見学し、私はそこ

で展示されていた一通の手紙に胸が熱くなりました。出兵する前に息子が母親に宛てた遺書のような手紙には、目頭が熱くなり思わず涙ができて、どのような気持で書いたのかと考えてしまいます。

靖國神社を後にして、次は浅草の『つるや』にて皆で昼食をとり、参拝の緊張感もほぐれて和やかな食事となりました。午後は自由行動となり、私達は浅草寺でお参りをしてその周辺の散策をして、お土産に雷おこしを買ってバスへと戻りました。

皆揃つたところでバスは浅草を出発し、渋滞にも合わず都内をぬけて途中佐野のサービスエリアで夕食をとり、夫々の家路につきました。

今日一日何事もなく過ごせたのも皆様の心がけと神様の御加護と深く感謝致します。

* * *

3年 上野 祥子

そのあと、またバスにのつて昼ごはんを食べにでかけました。わたしは「かとりちひろ」ちゃんと一緒にじやと花やしきにいきました。やす国じんじやは、せんそうでなくなつた人をおまつり



しているところです。みんなでおまいりしたあと、はくぶつかんみたいななところにいきました。せんそくのようすとか、せんそくのとき、きてた洋服とかが、かざつてありました。それが見えわつたあと、宮司さんといつしょにしゃしんをとりました。でも、しゃしんをとつたときへんな顔をしてしまいました。

おわつたあと、宮司さんといつくりハウスです。さいしょはほんとうに家がまわつてると思つたけど、あとからしくみがわかりました。いすがユラユラゆれていて「がめんがかわつているだけなんだな」と思いました。お母さんとおねえちゃんは、スペースホールというのりものにのりました。「とつてもこわかつたよ」とお母さんがいつつたよ」とつてお母さんがいつつた。わたしは、いつしょうそののりものにのりたくないと思つた。でも、あとからおもしろかつたといつてたので、ちよつとのりたりました。

それでわたしはスペースホールの、子どもようにのりました。ぜんぜんこわくなかったので、こんど花やしきに行つたときスペースホールをのりたいです。とてもあつかつたので、帰りにきつさてんに行つてオレンジジュースのみました。おいしかったです。つぎに、おかいもの

わたしは昼ごはんにうなぎを食べました。おいしかつたです。

そのつぎみんなはばらばらになりました。とてももうれしかつたです。

バスで帰るとき、バスの中でまたちひろちゃんとあそんでしました。とてもおもしろかったです。よるごはんを食べたままでした。とてもおもしろかっただけです。

わたしは、いつしょうおうちにはまつて、「またちひろちゃんと、あそびたかつたな」とおもいました。いろいろなことを、おしゃべりしました。おもしろかつたです。

【家族旅行注】去る八月二十日 むすび会員研修旅行が実施され、今回は参加された御家族二名（上野会長御令嬢、香取親睦涉外委員長夫人）の手記をここに掲載させていただきました。

会員紹介

磯

山

神社

神

人宗子宜神

行による行政区画の改正により
村社となり現在に至る。

本殿は寛文二年（一六六二）

二本の御神木は鹿沼市の天然記念物に指定されている。

また参道、社殿周囲に氏子の

に建立されたもので三間社流造
朱塗り銅板葺、県指定文化財で

ある。

記録によれば享保年間より宮

座が組織され、風雨等により社

六月下旬より咲き揃い訪れる参

拜者を楽しませている。

【名稱】
磯山神社

【鎮座地】
鹿沼市磯町六六番地

【祭神】
大己貴命

【配神】
須世理姫命
大日靈貴命
木花咲耶姫命
伊弉册命

【由緒沿革】

鹿沼市の南方に鎮座する磯山神社は、社伝に一条天皇の御宇永延二年（九八八）に高野下野藤原惟助により創建されたと伝えられ、当山明神と称し磯、亀和わたり、

田、赤塚、七ツ石、羽生田の五ヶ村の総鎮守であった。
永仁六年（一二九六）に宇都宮氏の一族である西方城主西方遠江守烏丸景泰により宇都宮二荒明神を勧請合祀し祈願所とされた。

江戸時代初期に磯山明神と改称し、寛永の検地の際七石一斗余が除地となり、慶安元年（一六四八）徳川家光より同高の朱印地を附せられてより代々の將軍の崇敬により同待遇を受け、神主金子氏、別当に真言宗円徳寺（現廢寺）をもつて奉仕させたとある。

明治元年磯山神社と改称、同五年に郷社に、その後町村制施

にあたって遷座が行われ、宮座の氏族鈴木氏がこの行列の役割を特権的に担つていたようである。こ

の宮座組織は現在鈴木党と称され、毎年一月十五日に神前に先座祓の神事が行

われている。

神社境内には古老杉には古老杉檜がそびえ



祝 世界遺産登録

—日光からNIKKOへ—



日光二荒山神社 本殿

平成十一年十二月二日午前一時五分、日光の社寺が世界遺産に登録された。国内では一〇件目、平成四年に暫定リストに盛り込まれてから実に七年。関係者各位の尽力、努力を想像するのに難くない歳月である。日光の社寺の登録範囲は、東照宮の陽明門や輪王寺の大歓院等に代表される国宝九棟、二荒山神社の神橋に代表される重要文化財九四棟の計一〇三棟。資産面積

は五〇・八ha、緩衝地帯三七三・二haの計四二四・〇ha。その中でも特に日光市山内の建物とその周辺の山林地域における、自然と社殿が一体となつた文化的景観は、非常に素晴らしい静寂と荘厳が交錯している。

世界遺産とは一体如何なるものなのか、ここで改めて考察してみたい。「世界遺産」、正式名称は「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」とい

う。又、その目的は、「自然遺産及び文化遺産を人類全体の為の世界の遺産として損傷、破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であるとの観点から、国際的な協力及び援助の体制を確立すること」とある。(要するに、「世界中で協力し、文化財を保護しよう。」ということであろうと思う。)又、発足は昭和四七年のユネスコの総会にて、本部はフランスのパリ、締結国は現在一五八ヶ国である。(我が国は平成四年に参入、平成十一年は六七七、〇〇〇米\$の分担金を義務づけられていて、世界一の出資国となっている。)

世界遺産は大別すると二種類になる。自然遺産と文化遺産である。自然遺産の登録基準は四項目、①地球の歴史上の主要な段階を示す顕著な見本である本である。③すばらしい自然現象及び自然美を持つ地域。④生物の本来的保全において最も重要な意義深い自然生息地を含んでいるもの(絶滅危険種を含む)。文化遺産は六項目、①人類

の創造的天才の傑作を表現するもの。②ある一定の時期の文化圈において建築、技術、計画的景観の発展に関し、人類の価値の重要な交流を示すもの。③現在、消滅した文化、文明の唯一、又は、稀な証となるもの。④歴史上重要な時代を例証する、ある形式の建造物、建築物群。⑤回復困難な状況下で損傷状態にある文化的代表的集落や土地利用の顕著な例。⑥顕著な普遍的



日光東照宮本殿

な意義を有する出来事、現存する伝統、思想、信仰、又は、芸術的、文学的作品と直接、又は、明白に関連するもの、とする。

日光の社寺は、古くからの山岳信仰の聖域であり、一七世纪の日本を代表する天才的な職人の高い芸術的価値をほこる多くの健造物、江戸時代における廟を中心とする神社と寺院の威容を伝える建築群で日本の古い形態の建築様式を知る上で重要な見本、健造物群とそれを取り巻く自然環境は古代以来の日本の宗教空間を継承する文化的景観の顕著な事例、等が挙げられ文化遺産①、④、⑥に該当し登録された。

又、古都奈良の文化財に続き日光の社寺が登録されたことは日本の「木の文化」に対する世界的な評価の高さのあらわれであると思われる。ペルセポリス、

アーヘン大聖堂、ヴエルサイユ宮殿等、石造りの建築物が立ち並ぶ欧州はいわば「石の文化」である。それに対して我国の「木の文化」は、木造建築が主体で状況に応じて改修を余儀なくされる。それ故に「建設当時の素材を使用していない」等の理由から当初、世界遺産としては理解をしめされなかつた。だが近年、欧洲中心の基準ではなく、人類の貴重な遺産という世界的

見地から我が国文化財が続々と世界遺産に登録されている。このことは、日本独特の懐の深い文化と伝統が諸外国の人々に理解されてきた証ともいえよう。

又、世界遺産登録に伴い懸念される事柄もある。押し寄せる人々の影響である。

屋久島や五箇山は急激に増加した観光客への対応に苦慮し、その他の遺産も人々のもたらす様々な問題を抱えている。あ

らゆる事象に対する迅速な対応や周辺環境をいたわる地域開発はもちろん、一遺産地域に住む人、訪れる人々と共に遺産を守り育ててゆくという意識を持つことが重要であろう。

祖先より引継ぎしこの素晴らしい日本の風土、文化を余すことなく後世の人々に伝えてゆくことは現在を生きる我々に課せられし義務なのではないだろうか。



日光山輪王寺 大猷院

平成十一年度 むすび会役員・幹事氏名

【役員】

会長	上野 武男	宇・二荒山神社	権禰宜
副会長	星野 芳典	乃木神社	権禰宜
事務局長	阿部 修一	古峯神社	権禰宜
会計	人見 文治	温泉神社	権禰宜
庶務	伊原 弘之	日・二荒山神社	権禰宜
人事	宇賀神直人	大田原神社	権禰宜
事務	大野 房典	宇・二荒山神社	権禰宜
監事	堀口 邦夫	栃木県神社庁	権禰宜
監議	小林 靖	三宮神社	権禰宜
監事長	菱沼 至広	鷲宮神社	権禰宜

【幹事】

宇河支部	小島 宣紀	小島 宣紀	権禰宜
宇・二荒山神社	芳賀支部	佐藤 智則	権禰宜
鹿島神社	塩谷支部	石川 安一	権禰宜
宇・二荒山神社	北那須・南那須支部	佐藤 寛明	権禰宜
宇・二荒山神社	上都賀支部	田中 教文	権禰宜
宇・二荒山神社	日・二荒山神社	高久神社	権禰宜
宇・二荒山神社	古峯神社	安住神社	権禰宜
宇・二荒山神社	下都賀支部	滝尾神社	権禰宜
宇・二荒山神社	安佐・足利支部・唐沢山神社	権禰宜	権禰宜
宇・二荒山神社	栗原 城治	権禰宜	権禰宜
宇・二荒山神社	佐野由希子	八幡宮	権禰宜
宇・二荒山神社	唐沢山神社	権禰宜	権禰宜
根裂神社	権禰宜	権禰宜	権禰宜
今宮神社	権禰宜	権禰宜	権禰宜
日・二荒山神社	権禰宜	権禰宜	権禰宜
滝尾神社	権禰宜	権禰宜	権禰宜

むすび会各種委員会正副委員長

【事業委員会】

委員長	小幡 正之	鹿島神社
副委員長	荒井 和宏	宇・二荒山神社
副委員長	宇・二荒山神社	宮司

【広報委員会】

委員長	野崎 正之	宇・二荒山神社
副委員長	小堀 真洋	八雲神社
副委員長	平出神社	権禰宜

【教化研修委員会】

委員長	永田 弘幸	根裂神社
副委員長	福田 財大	今宮神社
副委員長	田中 敏文	日・二荒山神社
副委員長	香取 正義	宮司

【親睦涉外委員会】

委員長	香取 正義	日・二荒山神社
副委員長	田中 敏文	滝尾神社
副委員長	教文	権禰宜

平成十一年度 栃木県青年神職むすび会事業報告

4月1日	むすび会役員、幹事、正副委員長会議	栃木県神社庁
4月22日	神青協創立五十周年記念式典	明治記念館
4月23日	神青協第五十一回定例総会 第一回神青協一都七県協議会定例会議	神社本庁
5月4日	乃木神社祭具収納小屋火災見舞	東京都神社庁
5月20日	むすび会役員、幹事会定例総会	乃木神社
5月21日	とちのみ学園神棚祭	宇都宮二荒山神社
5月22日	第五回神青協一都七県協議会総会	とちのみ学園
6月7～8日	むすび会役員、幹事、正副委員長会議	神奈川県横浜市
6月18日	宇都宮二荒山神社	宇都宮二荒山神社
6月23～24日	北方領土返還祈願碑における復帰祈願祭	北海道根室市納沙布岬
7月6～7日	群馬県神青創立五周年記念式典	群馬県伊香保
7月16日	東京都神青創立五十周年記念式典	青山ダイヤモンドホール
8月6日	第二回神青協一都七県協議会定例会議	東京都富岡八幡宮
8月20日	家族旅行 県外神社視察	靖國神社 浅草方面
8月25日	神青協世界平和祈願祭	九段会館
	靖國神社慰靈祭	靖國神社
9月8日	むすび会役員、幹事、正副委員長会議	宇都宮二荒山神社
9月29～30日	神青協夏期セミナー	神社本庁
10月2日	植樹祭 お月見の会	南那須支部方面
10月5日	茨城県神青協創立五十周年記念式典	茨城県筑波市
10月15～16日	一都七県野球大会 山梨県当番	神宮
10月18日	神宮初穂曳	神宮
10月25日	第三回神青協一都七県協議会定例会議	神宮外苑軟式グランド
11月12日	天皇陛下御即位十年奉祝式典	皇居前広場
12月2日	むすび会氏子青年会合同親睦ゴルフ大会	靖國神社
12月6日	むすび会退会者、昇級者祝賀会並びに忘年会	ジ Yun クラシック
12月13日	第四回神青協一都七県協議会定例会議	那須温泉 自在荘
1月28日	むすび会役員、幹事、正副委員長会議	東京都神社庁
2月11日	建国記念パレード	宇都宮二荒山神社
2月14日	第五回神青協一都七県協議会定例会議	宇都宮二荒山から宇都宮駅
3月6～7日	中央研修会	秋田県
3月13日	千葉県神道青年会創立五十周年記念式典	千葉県

新入会員紹介



川村一

住所：今市大桑町一三五九
生年月日：昭和38年3月14日
奉務先：平田神社
趣味・特技：運動全般、パソコン
座右の銘：何事も前向きに
異性の好み：明るい人

昨年三月までは茨城に住み行事の時、だけ奉仕しておりました
が、四月より地元に転居し、十月には祖父の後継ぎとして宮司を拝命致しました。初心に戻つて努力を続けたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

住所：日光市山内二三〇二一一二
二荒山荘



稻葉成孝

生年月日：昭和48年12月19日
奉務先：白山神社
趣味・特技：登山、水泳（趣味）、
クライミングウォール（特技）
座右の銘：奉仕する心
異性の好み：自分の目標をしつかり持つている人



佐藤明子

住所：塩谷郡喜連川町喜連川四
生年月日：昭和43年10月22日
奉務先：喜連川神社

趣味・特技：ドライブ、娘と歌
を歌うこと

座右の銘：継続は力なり
異性の好み：私より力持ちの人

住所：足利市助戸三一三二五一八
生年月日：昭和47年3月19日
奉務先：八雲神社
趣味・特技：カラオケ、バス釣り、スノーボード、龍笛、空手
座右の銘：眞実一路
異性の好み：美人で気立てが良く明るい方

今まで会社勤めが忙しく神社の仕事も父に頼りきりで疎かになりましたが、これからは、父を助けるつもりで積極的に取り組んでいける様努力したい所存です。

直階の資格をとつてからもう十四年くらいたつてしまつたが、平田神社は小さい神社だけど、これから盛りあげて楽しくみんなの集まる神社にして行きたいと思います。



日下部広朋



中成子

住所：河内郡上河内町大字高松
生年月日：昭和48年12月19日
奉務先：白山神社
趣味・特技：登山、水泳（趣味）、
クライミングウォール（特技）
座右の銘：奉仕する心
異性の好み：自分の目標をしつかり持つている人

二荒山神社に奉職して約一年、まだ覚えなければならない事は沢山あります。毎日が良い経験となります。今後も新しい経験をし、より一層神明に奉仕したいと思います。

生年月日：昭和48年5月6日
奉務先：日光二荒山神社
趣味・特技：スポーツ全般
座右の銘：特になし
異性の好み：明るく、優しい人

神職としてまだ未熟者ですが、一つ一つ与えられた仕事を最後までやり通したいと思います。何事にも挑戦したいと思います。よろしくお願ひします。



新井 隆宏

住所：宇都宮市今泉四一六二八
生年月日：昭和50年1月11日
奉務先：八坂神社
趣味・特技：釣り

座右の銘：公明正大
異性の好み：明るく、しつかり
した女性

住所：下都賀郡都賀町合戦場七〇九

生年月日：昭和49年6月13日
奉務先：磐根神社

趣味・特技：釣り、旅行
座右の銘：初心忘るべからず
異性の好み：素直な人

宗教は時代と共に新しい二一度が求められてきていると思う。しかし伝統を重じる神道においては変革という言葉は合わないのかもしれないが、人あつての宗教であることは忘れてはならないと思う。



沼部 泰幸

生年月日：昭和51年9月28日
住所：小山市宮本町一一一四

大学を卒業して約1ヶ月、毎日が新しい事の連続で、不安の中にも良い経験をしているとの実感を得ることができます。今はまだ、半人前にも満たない自



芦田 真彦

まだ神職として駆け出しの身なので、色々経験を積んで吸収していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

奉務先：須賀神社
趣味・特技：音楽鑑賞、ドライブ
座右の銘：特になし
異性の好み：メール



柳田 耕史

住所：真岡市荒町三一四三
マルミコーボB棟一〇一號

生年月日：昭和34年6月30日
奉務先：大前神社
趣味・特技：特になし

座右の銘：特になし
異性の好み：官能的な肉体を持つ、深窓の令嬢

住所：秩父市上宮地町二五一五
C一二〇四

生年月日：昭和52年2月23日
奉務先：秩父神社
趣味・特技：音楽鑑賞
座右の銘：特になし
異性の好み：特になし

神社の清掃を手伝つて下さる、飛田さんという職員がおられます。「早く」「計算」という概念のない方ですが、その仕事は実際に丁寧、心のこもったものなのです。私はこの方に、神明奉仕の原点を見ます。

その飛田さんがよく言う言葉に、「きれいになつて、神様喜んでいるかな?」と。彼の頭の中には神様の事でいっぱいないのでした。



加藤 昌治

分ですが、日々、神明奉仕に勤しんでまいりたいと思います。

【新入会員】

氏名：長島 章博

住所：足利市大前町一四〇〇

生年月日：昭和41年2月9日

奉務先：大原神社

氏名：横瀬 勝宣
住所：上都賀郡粟野町入粟野
七〇九

生年月日：昭和51年3月27日

奉務先：賀蘇山神社

退会者

氏名：荒井 和宏
奉務先：宇都宮二荒山神社
挙式日時：平成11年11月25日
祭場：二荒山会館

新婦氏名：学美（まなみ）

本人のコメント：幸せな家庭を
築いていきたい。奥さんより一言…安らぐ家庭を
築いていきたい。氏名：加藤 昌治
奉務先：今宮神社
生年月日：昭和34年6月16日氏名：中 山 光明
奉務先：大宮温泉神社
生年月日：昭和34年11月3日氏名：渡 健二
奉務先：乃木神社

生年月日：昭和34年11月25日

氏名：斎藤 正洋

奉務先：岩戸別神社

生年月日：昭和35年1月19日

氏名：斎藤 正洋
第一子氏名：宰位 すずい
生年月日：平成11年7月7日

祝ご結婚

祝ご誕生

小島宣紀
権原神社
神山拓之
八坂神社
葛田真彦

親からの希望：人に愛され、優しく思いやりがあり、若竹の如く直く直くと育ち、又、世の為人の為になりうる人柄に育つてほしい。

はじめて、今年も、会報むすび第二十四号を関係各位の皆様の御協力のもとに発行できましたことを厚く御礼申し上げます。



又、広告の協賛として、各社の皆様には、早々に御協賛を賜り心より感謝致します。

平成十一年は天皇陛下御即位十年の慶事の年であり、又、国旗・国歌に関する法律も成立了。

あらためて私達日本人の精神的主軸というものが十分に理解された節目の年ではないかと思います。

我々広報委員一同、野崎新委員長を軸とし一丸と成り、先輩

諸兄より受け継ぎしものを根底に時代に即した広報活動を行う所存であります。



【編集委員】

委員長 野崎正之
副委員長 小堀真洋
宇二荒山神社
八雲神社
稻葉成孝
町井康祐
狐塚泰久
大河原肇
古峯神社

編集後記

栃木県青年神職むすび会事業のご案内

—旨味を作り出す大地のちから—



『御供物』 定価 200円

- 名 称 粉末山芋
- 原材料名 大和芋
- 内 容 量 10g × 2袋入

※社名印刷は別途



『撤饌』 各定価 100円

- 名 称 粉末山芋
- 原材料名 大和芋
- 内 容 量 10g × 1袋入

※社名印刷は別途



ひとつちようかん
1箱 3本入

【お申込み先】

栃木県神社庁青年神職むすび会事業委員会

〒321-0015 栃木県宇都宮市八幡台12-24
TEL 028 (625) 2011 FAX 028 (624) 3217
(担当:堀口・小幡)

広 告 協 賛 者 一 覧

ご協賛ありがとうございました

創業90余年の御信用

おみくじ機
おみくじ

製造販売

(有)女子道社

〒745-0302 山口県都濃郡鹿野町
TEL 0834-68-2001
FAX 0834-68-2958

誠実と真心で奉仕する
御守・授与品・参拝記念奉製

御一報次第カタログ御送り致します。



グリーン産商株式会社

代表取締役 柚木 忠

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL 大阪(06) 6702-6009番(代)
FAX 大阪(06) 6797-5896番

営業品目

木札・紙札・熊手・絵馬・守護矢
金襴錦守・縁起物入おみくじ・各種ステッカー

おまもりの奉製

株式会社 阿部

本社・工場 〒323-1104 栃木県下都賀郡藤岡町藤岡213-7
TEL (0282) 62-1010 (代表)
FAX (0282) 62-2061

各授与品、記念品奉製

金襴錦守、合成樹脂製守、紙札守
木札、金属製守、反射ステッカー
●その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 三愛工芸

〒311-4143 水戸市大塚町字谷津1761-16
TEL 水戸 (029)251-2051(代)
FAX 水戸 (029)253-5844

授与品奉製

伊勢の



株式会社

神路社

〒516-8611 伊勢市岩渕二丁目5番29号(私書函26号)
TEL (0596) 24-5858 (代表)
FAX (0596) 24-5110

全国各神社御用達

神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳
交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー
奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

創業100年 真心で奉仕する

今村紙業株式会社

代表取締役 今村 力男

〒409-3601 山梨県西八代郡市川大門町6,237-11
TEL 055 (272) 0514 (代)
FAX 055 (272) 8818

創業130年

各種御神符・守札
その他授与品全般

湊御神符奉製所

株式会社 湊

伊勢市神宮会館前 〒516-0025
電話 (0596)22-2442(代表)

「京都営業所」 京都市上京区智光院通り中立売下ル
電話 (075) 43-215500
「東京営業所」 東京都文京区本郷三一四一九
電話 (03) 38-18-1461
「フリーダイヤル」 0120-164-124

環境にやさしい
おまもりをめざして

神興・太鼓・神具

製作直売 (カタログ進呈)

1尺8寸、2尺、3尺、4尺、ダンジリ、
その他何でもご一報下さい。

大阪府神社庁御指定・徳島県神社庁御指定

有限会社 青山みこし店

本社・工場 徳島市春日1-2-19 〒770-0002
TEL (088) 632-1456・FAX (088) 632-7424



麻・鈴緒・合織α繩(注連繩)製造

有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田市12-14
フリーダイヤル 0120-22-1312
FAX 0282-22-1387
<http://www.t-cnet.or.jp/~momidiya/f-top>

社頭授与品専門奉製所
(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

常陸神宝(株)

〒310-0067 水戸市本町1丁目53-4
☎ (水戸) 029 (227) 0511(代)
FAX (水戸) 029 (227) 0512

全国神社御用達

神社用品全般取扱店
有限会社 平石装束店

〒260-0001 千葉市中央区都町1254-27
TEL 043-231-5774
FAX 043-231-3715

県内各神社様、工事拝命先(順不同)

日光東照宮	矢板木幡神社
日光二荒山神社	小川温泉神社
宇都宮二荒山神社	足利權崎八幡宮
真岡大前神社	佐野人丸神社
大田原那須神社	下野一社八幡宮
西那須野乃木神社	祖母井神社
氏家今宮神社	足利八雲神社
足利星宮神社	一瓶塚稻荷神社神社

株式会社

小西美術工藝社

〒321-1431 栃木県日光市山内2362 TEL 日光(0288)54-1198(代)
〒108-0074 東京都港区高輪1-5-22 TEL 東京(03)3447-1481(代)



祈りをかたちに

神社授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川 和夫
本社 〒114-0004 東京都北区岩淵3-20-13 TEL 03-3912-6161(代表) FAX 03-3912-3131
草加営業所 〒340-0025 埼玉県草加市谷塙仲町466-1
TEL 0489-21-1221(代) FAX 0489-21-1515



神社本庁
各 神 社 御用達

- 交通安全御守護 ●御参拝記念品
 - 開運招福鈴 ●御社頭授与品
- 立案調製致します。

◆技術と信用◆

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332

カザリシ
社寺専門店(御用達・鎌師)
屋根銅板葺 飾金具工事

有限会社 カザリ カナ グ

鈴木鎌金具工芸社

〒321-1412 栃木県日光市東和町57-1
TEL 0288(53)1121
FAX 0288(54)3263

信頼のにおける確かな技術と美しい仕上がり

NP 有限公司 中津印刷所

代表取締役 中津 己代治

〒321-1406 栃木県日光市松原町320-1

TEL 0288-54-1529

FAX 0288-53-0850

絵馬・御札・神社授与品専門店



株式会社 晃栄商会

代表取締役 小杉 高士

〒321-1421 栃木県日光市所野1388番地

TEL 0288(53)4186 FAX 0288(53)4488



日光二荒山神社 神橋

目 次

会長挨拶	2
国旗・国歌法	3
神青協活動報告	4
「北方領土復帰祈願祭」に参加して	5
神宮 初穂曳に奉仕して	6
植樹祭	7
靖國神社参拝家族旅行に参加して	7
会員神社紹介(磯山神社)	9
祝 世界遺産登録	10
役員・幹事・各種委員会正副委員長名簿	12
平成十一年度事業報告	13
新入会員紹介	14
退会者・ご結婚・ご誕生	16